

# 独習Java

## 第13章 13.7~13.8

---

13.7 アプレットサイズの使用

13.8 Webページでアプレットを使用する



# アプレットサイズの計測

---

- アプレットのサイズを計測することでアプレットの中心の座標が求められ、アプレットの中心に円を描画することができます。
- アプレットの計測にはgetSize()メソッドを用います。

getSize()メソッド

Dimension getSize()



# プログラム例(1/2)

---

- アプレットのサイズを計測し、アプレットの中心に文字列を配置するプログラム

```
import java.applet.*;
import java.awt.*;
/*
<applet code="CenterString" width=300 height=200>
</applet>
*/
public class CenterString extends Applet {
public void paint(Graphics g) {
//文字列の設定
```

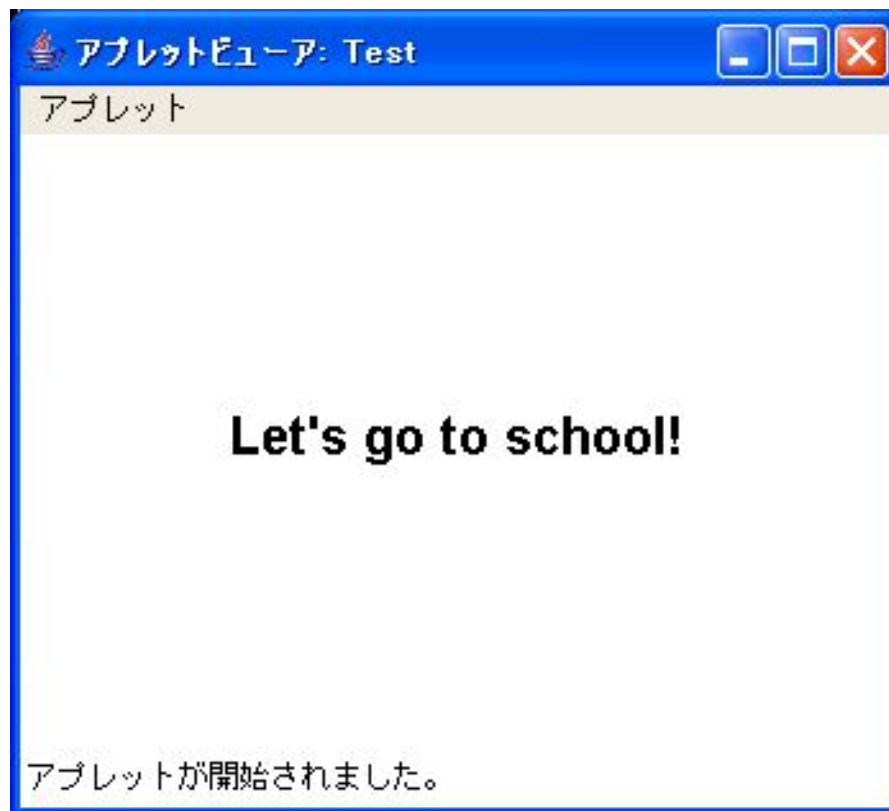


# プログラム例 (2/2)

---

```
String s = "Let's go to school!";  
//フォントの作成と設定  
Font f = new Font("SansSerif",Font.BOLD, 20);  
g.setFont(f);  
//フォントメトリックスの取得  
FontMetrics fm = g.getFontMetrics();  
//文字列の先頭の位置を計算する  
Dimension d = getSize();  
int x = d.width / 2 - fm.stringWidth(s) / 2;  
int y = d.height / 2 + fm.getDescent();  
//文字列の描画  
g.drawString(s,x,y);  
}  
}
```

# 実行結果





## Webページでのアプレットの使用

---

- アプレットはWebページに埋め込むことができる。
- 閲覧方法はWebブラウザでそのページのURLを開く。
- HTMLの完全なappletタグの構文を次に示す。
- なお、各カッコで囲んだ部分は省略可能



# appletタグ (1/2)

---

<applet

[codebase=url] この位置を基点として.classファイルが取得される

code=className アプレットクラスの名前

[alt=text]

[name=appName]

width=wpixels アプレットの幅

height=hpixels アプレットの高さ

[align=alignment] イメージの配置を決める

[vspace=vspixels] 左右に設けるスペースを指定

[hspace=hspixels] 上下に設けるスペースを指定

>



# appletタグ (2/2)

---

[<param name=pname1 value=value1>] パラメータの引渡し

[<param name=pname2 value=value2>]

・

・

・

[<param name=pnameN value=valueN>]

</applet>

# 練習問題

- サイズが $200 \times 200$ のアプレットの中心に半径20の円を描画せよ。さらにその円の左右に接する二つの円を描画せよ。

描画例

